

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-223347

(43)Date of publication of application : 08.08.2003

(51)Int.Cl.

G06F 12/00
H04N 5/76

(21)Application number : 2002-022942

(71)Applicant : FUJI PHOTO FILM CO LTD

(22)Date of filing : 31.01.2002

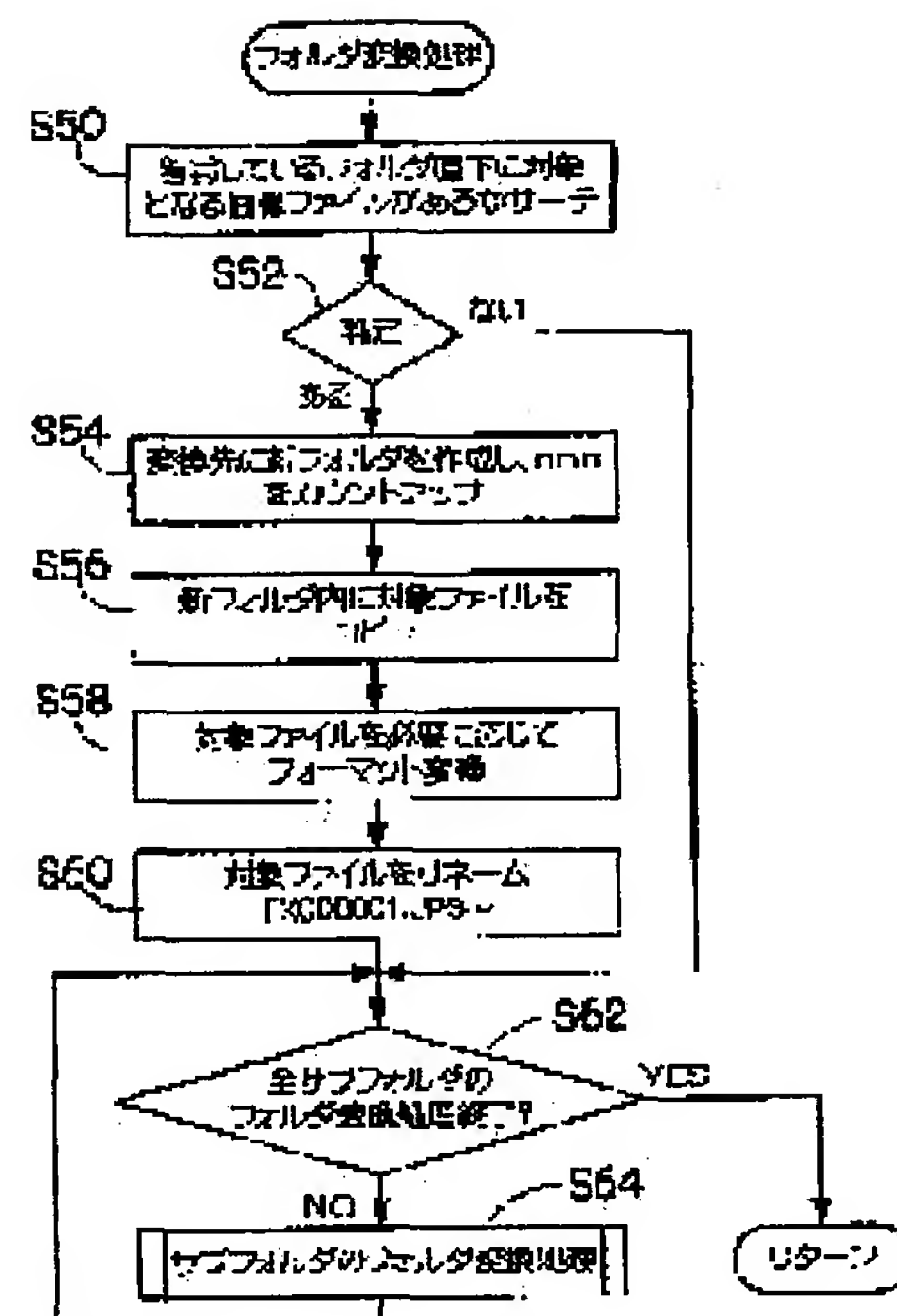
(72)Inventor : TERADA MASAHIRO
NISHIJIMA MASAKAZU

(54) ALBUM PREPARING PROGRAM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To automatically convert picture data stored in various folder hierarchies into storage configurations suitable for secondary use in a print service so as to store the picture data in a recording medium.

SOLUTION: This album preparing program is provided to prepare a CD album by selecting at least one folder in which picture files are included in any low order hierarchy, and making a computer execute a function for recording picture files included in the selected and following folders in a CD-R when the execution of storage processing is instructed. This album preparing program is provided to successively search the folders having the picture files come just under the folders (step S50), and to prepare a new folder for the folder having the picture file come just under the folder (step S54), and for copying the target picture file to the new folder as a new picture file (step S56), and adds the folder name and file name automatically generated based on a DCF rule to the new folder and the new picture file (steps S54, S60) at the time of recording the picture files in the CD-R.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

21.12.2004

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2003-223347
(P2003-223347A)

(43) 公開日 平成15年8月8日 (2003.8.8)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームト* (参考)
G 0 6 F 12/00	5 2 0 5 1 1 5 1 5 5 2 0	G 0 6 F 12/00	5 2 0 P 5 B 0 8 2 5 1 1 C 5 C 0 5 2 5 1 5 B 5 2 0 G
H 0 4 N 5/76		H 0 4 N 5/76	B
審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 10 頁)			

(21) 出願番号 特願2002-22942(P2002-22942)

(22) 出願日 平成14年1月31日 (2002.1.31)

(71) 出願人 000005201

富士写真フイルム株式会社
神奈川県南足柄市中沼210番地

(72) 発明者 寺田 昌弘

埼玉県朝霞市泉水3丁目11番46号 富士写
真フイルム株式会社内

(72) 発明者 西嶋 征和

埼玉県朝霞市泉水3丁目11番46号 富士写
真フイルム株式会社内

(74) 代理人 100083116

弁理士 松浦 憲三

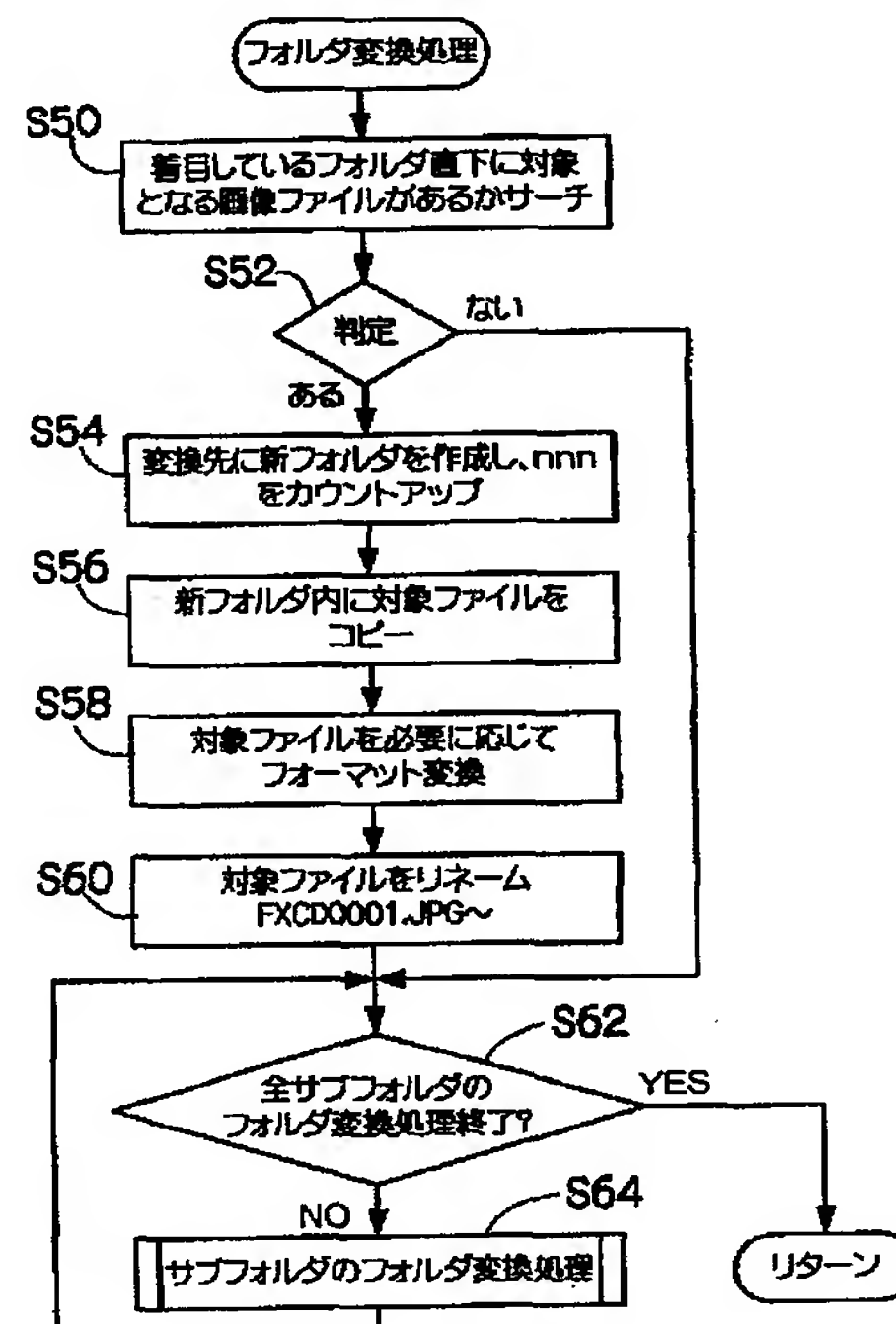
Fターム(参考) 5B082 AA13 EA01 EA05 EA09 GA02
5C052 AA01 AB05 AC08 CC01 DD02

(54) 【発明の名称】 アルバム作成プログラム

(57) 【要約】

【課題】 多様なフォルダ階層に蓄積された画像データを、プリントサービスでの2次利用に適した保管形態に自動的に変換して記録媒体に保存可能にする。

【解決手段】 下位階層のいずれかに画像ファイルが含まれているフォルダを1つ以上選択し、保存処理の実行が指示されると、前記選択されたフォルダ以下に含まれる画像ファイルをCD-Rに記録する機能をコンピュータに実行させ、CDアルバムを作成するアルバム作成プログラムである。このアルバム作成プログラムは、前記画像ファイルをCD-Rに記録する際に、フォルダ直下に画像ファイルがくるフォルダを順次サーチし(ステップS50)、フォルダ直下に画像ファイルがくるフォルダに対して新フォルダを作成するとともに(ステップS54)、該新フォルダに対象の画像ファイルを新画像ファイルとしてコピーし(ステップS56)、これらの新フォルダ及び新画像ファイルにDCF規則に基づいて自動生成されるフォルダ名及びファイル名を付ける(ステップS54、S60)。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも下位階層のいずれかに画像ファイルが含まれているフォルダを 1 つ以上選択し、保存処理が指示されると、前記選択されたフォルダ以下に含まれる画像ファイルを記録媒体に記録する機能をコンピュータに実行させるアルバム作成プログラムであって、前記画像ファイルを記録媒体に記録する際に、フォルダ直下に画像ファイルがくるフォルダを順次サーチする機能と、フォルダ直下に画像ファイルがくるフォルダに対して新フォルダを作成するとともに、該新フォルダを対象の画像ファイルを新画像ファイルとして格納することで同一階層の新フォルダからなる記録構造に変換する機能と、前記新フォルダ及び新画像ファイルに所定の命名規則に基づいて自動生成されるフォルダ名及びファイル名を付ける機能と、を前記コンピュータに実行させることを特徴とするアルバム作成プログラム。

【請求項 2】 前記新画像ファイルの画像をサムネイル画像として一覧表示するための閲覧用インデックス情報であって、前記新画像ファイルと前記記録構造の変換前の画像ファイルとの対応関係を識別可能に表示させる情報を含む閲覧用インデックス情報を生成する機能と、前記閲覧用インデックス情報を前記記録媒体に記録する機能とを前記コンピュータに実行させることを特徴とする請求項 1 のアルバム作成プログラム。

【請求項 3】 前記新画像ファイルの画像をサムネイル画像として一覧表示するための閲覧用インデックス情報であって、前記サムネイル画像から対応する新画像ファイルを開くためのリンク情報を含む閲覧用インデックス情報を生成する機能と、前記閲覧用インデックス情報を前記記録媒体に記録する機能とを前記コンピュータに実行させることを特徴とする請求項 1 又は 2 のアルバム作成プログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明はアルバム作成プログラムに係り、特にパソコンのハードディスクに蓄積された画像データを、CD-R (Compact Disc Recordable) 等の 2 次記録媒体に記録する際に好適な電子アルバムを作成するアルバム作成プログラムに関する。

【0002】

【従来の技術】 デジタルカメラの普及によって、ユーザが手軽にデジタル画像データを作成できるようになった。デジタルカメラで撮影した画像データの記録用メディアとしては、メモ리카ードが通常使用されているが、このメディアは、例えばビデオテープレコードにおけるビデオカセットのようにそのまま保管メディアとして使うにはまだ高価である。そのため、デジタルカメラで撮影した画像データは、パソコンのハードディスクなどの大容量記憶装置にコピーして蓄積、保存することが一般に行われている。

【0003】 次の段階として、ハードディスクに蓄積されたこれらの画像データを、CD-R 等の 2 次記録媒体へバックアップ保存するニーズが生じており、既にいくつものアプリケーションソフトが提供されている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、従来から提供されている画像データ処理装置の機能は、単なるハードディスク内のデータをバックアップとして 2 次記録媒体に記録する機能であるか、もしくは、閲覧の体裁を作り込んだ電子アルバムとして 2 次記録媒体に記録する機能のいずれかであって、2 次利用を考慮したデータバックアップとして 2 次記録媒体に記録する機能がなかった。

【0005】 例えば、特開平 10-320546 号公報に記載の画像データ処理装置は、画像データを、HTML (Hypertext Markup Language) のテンプレートにはめ込んだ形で保存することで Web ブラウザで閲覧できるようにしており、同様に特開 2000-357169 号公報に記載のものは、デジタルカメラからハードディスク（あるいはハードディスクから 2 次記録媒体）にコピーする段階で HTML 表現による閲覧情報を自動生成して保存するが、元画像データの 2 次利用の配慮がされていない。

【0006】 従って、上記従来の画像データ処理装置は、ユーザが既に多様なフォルダ階層に蓄積してしまったハードディスク内の画像データを、2 次記録媒体に保存するときに、どのように整理するかという問題を解決していない。

【0007】 本発明はこのような事情に鑑みてなされたもので、多様なフォルダ階層に蓄積された画像データを、プリントサービスでの 2 次利用に適した保管形態に自動的に変換して記録媒体に保存することができ、また、変換前のフォルダ名やファイル名の情報を失うことなく、簡易に画像閲覧が可能で変換前後の画像ファイルの対応関係が識別可能な体裁情報を付加した状態で保存することができるアルバム作成プログラムを提供することを目的としている。

【0008】

【課題を解決するための手段】 前記目的を達成するために請求項 1 に係る発明は、少なくとも下位階層のいずれかに画像ファイルが含まれているフォルダを 1 つ以上選択し、保存処理が指示されると、前記選択されたフォルダ以下に含まれる画像ファイルを記録媒体に記録する機能をコンピュータに実行させるアルバム作成プログラムであって、前記画像ファイルを記録媒体に記録する際に、フォルダ直下に画像ファイルがくるフォルダを順次サーチする機能と、フォルダ直下に画像ファイルがくるフォルダに対して新フォルダを作成するとともに、該新フォルダを対象の画像ファイルを新画像ファイルとして格納することで同一階層の新フォルダからなる記録構造に変換する機能と、前記新フォルダ及び新画像ファイル

に所定の命名規則に基づいて自動生成されるフォルダ名及びファイル名を付ける機能と、を前記コンピュータに実行させることを特徴としている。

【0009】例えば、画像ファイルがハードディスク上の多様なフォルダ階層に蓄積されている場合でも、フォルダ直下に画像ファイルがくるように新フォルダを作成する。このようにして作成される各新フォルダは同一階層となり、また、新フォルダには対応する画像ファイルが新画像ファイルとして格納され、単純な記録階層に変換される。このようにして作成されたフォルダ及び該フォルダに格納される画像ファイルには、DCF (Design rule for Camera File system: デジタルカメラの統一記録フォーマット) などによる命名規則により自動生成されるフォルダ名及びファイル名が付けられる。

【0010】このようにして作成された新画像ファイルは、フォルダ名 (フォルダ番号) とファイル名 (ファイル番号) とにより一意に特定でき、前記新フォルダ及び新画像ファイルをCD-R等の2次記録媒体に記録し、その2次記録媒体とフォルダ名 (フォルダ番号) とファイル名 (ファイル番号) が記録されたプリント注文用紙とをプリントサービスに持っていくことにより、簡単にプリント注文を行うことができる。

【0011】請求項2に示すように前記新画像ファイルの画像をサムネイル画像として一覧表示するための閲覧用インデックス情報であって、前記新画像ファイルと前記記録構造の変換前の画像ファイルとの対応関係を識別可能に表示させる情報を含む閲覧用インデックス情報を生成する機能と、前記閲覧用インデックス情報を前記記録媒体に記録する機能とを前記コンピュータに実行させることを特徴としている。

【0012】即ち、前記記録媒体に記録された閲覧用インデックス情報をブラウザで開くことにより閲覧用インデックス画面の表示が可能になる。また、変換前後の画像ファイルの対応関係を識別可能に表示させる情報とは、変換前後のそれぞれの画像ファイルを示す情報 (フォルダ名やファイル名など) や、変換前の画像ファイルを示す情報と変換後の新画像ファイルを開くためのリンク情報である。即ち、変換前後のそれぞれの画像ファイルを示す情報が記録されている場合には、前記閲覧用インデックス画面に変換前及び変換後のそれぞれフォルダ名やファイル名等を同時に表示させることができ、これにより変換前後の画像ファイルの対応関係を識別することができる。また、変換前の画像ファイルを示す情報と変換後の新画像ファイルを開くためのリンク情報が記録されている場合には、前記閲覧用インデックス画面に変換前のフォルダ名やファイル名等を表示させることができるとともに、この閲覧用インデックス画面からリンク情報により新画像ファイルを開くことにより開いた先の画面上で新画像ファイルのフォルダ名やファイル名を確認することができる。

【0013】請求項3に示すように前記新画像ファイルの画像をサムネイル画像として一覧表示するための閲覧用インデックス情報であって、前記サムネイル画像から対応する新画像ファイルを開くためのリンク情報を含む閲覧用インデックス情報を生成する機能と、前記閲覧用インデックス情報を前記記憶媒体に記録する機能とを前記コンピュータに実行させることを特徴としている。

【0014】

【発明の実施の形態】以下添付図面に従って本発明に係るアルバム作成プログラムの好ましい実施の形態について詳説する。

【0015】図1は本発明に係るアルバム作成プログラムを有するパーソナル・コンピュータ (以下、「パソコン」という) のハードウェア構成例を示すブロック図である。

【0016】図1に示すようにパソコンは、主として各構成要素の動作を制御する中央処理装置 (CPU) 10と、装置の制御プログラムが格納されたり、プログラム実行時の作業領域となる主メモリ12と、パソコンのオペレーティングシステム (OS)、本発明に係るアルバム作成プログラム、各種のアプリケーションソフト、ユーザの画像等が格納されるハードディスク装置14、CD-ROMからの読み込みやCD-Rへの書き込みが可能なCD-R/RW装置16と、表示用データを一時記憶する表示メモリ18と、この表示メモリ18からの画像データ、文字データ等により画像や文字等を表示するCRTモニタや液晶モニタ等のモニタ装置20と、キーボード22と、位置入力装置としてのマウス24と、マウス24の状態を検出してモニタ装置20上のマウスポインタの位置やマウス24の状態等の信号をCPU10に出力するマウスコントローラ26と、上記各構成要素を接続するバス28とから構成される。

【0017】尚、上記構成のパソコンは、ハードディスク装置14に格納されるアルバム作成プログラムを除いて周知のものであるため、各構成要素の詳細な説明については省略する。

【0018】次に、本発明に係るアルバム作成プログラムの概略について説明する。

【0019】このアルバム作成プログラムは、ユーザがハードディスク装置14上の下位層に画像ファイルが格納されているフォルダを指定すると、そのフォルダ以下の階層すべてをCD-Rへの記録に適したCDアルバム形式にアレンジし、これをハードディスク装置14の他の領域及び/又はCD-Rに書き込むようにパソコンを動作させるものである。

【0020】図2はビューアソフトが起動され、ハードディスク装置14内のあるフォルダが指定され、そのフォルダに格納されている画像ファイルの画像の一覧が表示されている場合に関して示している。

【0021】ここで、CDアルバム作成のボタン50を

クリックすると、アルバム作成プログラムが起動し、図3に示すようにCDアルバム作成用のウインドウ52が開く。尚、このアルバム作成プログラムは、ビューアソフトの画面上のボタン50をクリックすることによって起動する場合に限らず、直接プログラムが指定されることによって起動することができる。

【0022】ビューアソフトの画面上のボタン50をクリックすることによってアルバム作成プログラムが起動すると、図3に示すようにCDアルバム作成用のウインドウ52には、ビューアソフトで開いていたフォルダが、アルバム作成用のフォルダとして選択され、その選択を示すアイコン54がウインドウ52に表示される。

【0023】また、図4に示すように右側のツリー構造上のフォルダをウインドウ52上にドラッグ&ドロップすることによりフォルダを追加選択することができる。尚、選択できるフォルダは、ツリー構造上のいずれの階層のものでもよい。また、ウインドウ52上には、選択されたフォルダの合計サイズ(MB)が表示される。

【0024】フォルダの選択が終了すると、CDアルバム作成用のウインドウ52のボタン56をクリックすることにより、CD書き込み用データの作成が開始し、CD書き込み用データの作成が終了すると、図5に示すように作成終了のメッセージが表示される。ここで、「今すぐ書き込む」のボタン58がクリックされると、CD-Rへの書き込み用アプリケーションが起動し、CD-R/RW装置16により前記作成されたCD書き込み用データがCD-Rに書き込まれる。尚、前記作成されたCD書き込み用データは、ハードディスク装置14に格納されてお*

規定	フォルダ番号(100～999)	自由文字(5文字)
例	1 0 0	A B C D E

尚、DCF イメージルートディレクトリDCIMの直下に DCF フォルダが存在しない場合には、フォルダ番号の初期値は任意であり、DCFフォルダが存在する場合には、新たに作成される DCFフォルダのフォルダ番号は、最大番号+1の連番が推奨されている。

※

規定	自由文字(4文字)	ファイル番号(0001～9999)
例	A B C D	0 0 0 1

尚、DCFフォルダに DCFファイルが存在しない場合、ファイル番号の初期値は任意であり、DCFファイルが存在する場合には、新たに作成される DCFファイルのファイル番号は、最大番号+1の連番が推奨されている。

【0035】次に、上記記録階層の変換及びフォルダ名、ファイル名の作成手順について、図8及び図9に示すフローチャートにしたがって説明する。

【0036】前述したようにCD書き込み用データの作成が指示されると、図8に示すようにDCFフォルダのフォ

※り、後でCD-Rに書き込むこともできる。

【0025】次に、上記CD書き込み用データについて説明する。

【0026】図6はハードディスク装置14のツリー構造からCD書き込み用データのツリー構造に記録構造が変換される様子を示す図である。

【0027】例えば、ハードディスク装置14のツリー構造(図6(A))から2000年のフォルダと2001年のフォルダが選択されると、これらのフォルダ以下のフォルダ、画像ファイルが、図6(B)に示すような記録構造に変換される。

【0028】即ち、DCFイメージルートディレクトリDCIM(Digital Camera Images)の直下に同一階層の DCFフォルダ(100_FUJI～105_FUJI)が作成され、各 DCFフォルダに対応する画像ファイルがコピーされる。

【0029】また、このようにして作成された DCFフォルダ及び画像ファイルには、所定の命名規則に基づいてフォルダ名及びファイル名が自動生成されて付けられる。

【0030】この実施の形態では、DCF規定に基づいてフォルダ名及びファイル名を自動生成しており、図7の左側に示す変換前のフォルダ名、ファイル名は、図7の右側に示すフォルダ名、ファイル名に変換される。

【0031】ここで、DCFフォルダのフォルダ名は、次表のように作成される。

【0032】

【表1】

※【0033】また、画像ファイル(DCFファイル)のファイル名は、次表のように作成される。

【0034】

【表2】

ルダ名のうちのフォルダ番号nnnを、初期値100に設定する(ステップS10)。続いて、ハードディスク装置14から選択されたフォルダのリストを取得する(ステップS12)。

【0037】次に、前記リストの中の各フォルダごとに順次フォルダ変換処理を実行する(ステップS14)。このフォルダ変換処理は、図9に示す手順にしたがって行われる。

【0038】図9に示すように、まず着目しているフォ

ルダ（フォルダ変換するフォルダ）直下に対象となる画像ファイルがあるか否かをサーチする（ステップS50）。例えば、図7に示す2000年のフォルダ直下には画像ファイルは存在しないが、2000年のフォルダの下位階層の運動会のフォルダ直下には画像フォルダが存在する。

【0039】フォルダ直下には画像フォルダが存在する場合には、変換先に新フォルダ(DCFフォルダ)を作成するとともに、フォルダ番号nnnを1だけカウントアップしてフォルダ名を付ける（ステップS54）。即ち、前述したDCFの命名規則によりフォルダ名を付ける。尚、DCFイメージルートディレクトリDCIMの直下に最初にDCFフォルダを作成する場合には、そのフォルダ番号は、ステップS10で初期化したフォルダ番号にする。

【0040】次に、新フォルダ内に対象ファイルをコピーする（ステップS56）。このコピー時に対象ファイルを必要に応じてフォーマット変換する（ステップS58）。例えば、対象ファイルがJPEG形式以外（ビットマップ形式等）の場合には、JPEG形式の画像フォーマットに変換する。

【0041】また、新フォルダ内にコピーする全対象ファイルに前述したDCFの命名規則によりファイル名を付ける（ステップS60）。

【0042】上記ステップS60が終了すると、又はステップS52で画像ファイルが存在しないと判定されると、着目しているフォルダの下位階層の全フォルダ（サブフォルダ）について、フォルダ変換処理が行われたか否かを判別する（ステップS62）。全サブフォルダのフォルダ変換処理が行われていない場合には、上記と同様にしてサブフォルダのフォルダ変換処理を行う（ステップS64）。いま、図7の2000年のフォルダを着目しているフォルダとすると、運動会、公園、植物園、芝生広場のフォルダが、サブフォルダである。

【0043】全サブフォルダのフォルダ変換処理が終了した場合（又はサブフォルダがない場合）には、ステップS14（図8）に戻る。

【0044】次に、リストの中の他のフォルダについても同様にしてフォルダ変換処理を実行し、全フォルダのフォルダ変換処理を実行する（ステップS14、S16）。

【0045】また、CD書き込み用データとして、画像を一覧表示するための閲覧用インデックス（HTMLファイル）を作成し、このHTMLファイルにハードディスク装置14内の変換前のフォルダ名、ファイル名などを残すようにしている。

【0046】図10はCD-Rに書き込まれるCD書き込み用データの記録構造例を示している。同図に示すように、前述したDCFイメージルートディレクトリDCIMと同じ階層にHTML用付帯情報を入れる同一構造のツリーをおく。そして、CD-R内にはバイナリのプログラム（ビ

ュアソフトなど）は書き込まずに、HTMLファイルを書き込み、このHTMLファイルをブラウザで開くことで閲覧用インデックス画面の表示を可能にしている。

【0047】図11はCD-R内に書き込まれたHTMLファイル（トップページのFPVINDEX.HTML）に基づいて表示されるモニタ画面の表示例を示す。

【0048】同図に示すように、この表示画面には、記録階層の変換前のフォルダのツリー構造の絵やフォルダ名などが表示され、画像ファイルが格納されているフォルダには画像の枚数が表示される。

【0049】また、画像ファイルが格納されているフォルダは、そのフォルダ内の画像を表示するための閲覧用インデックスファイル（サムネールページ）を開くためのリンクボタンになっており、このボタンをクリックすることでサムネールページが表示される。図12は各フォルダのボタンとリンクしているサムネールページを示しており、下線のあるフォルダのボタンがサムネールページにリンクしている。

【0050】いま、図11上で運動会のフォルダをクリックすると、これとリンクしているサムネールページ（FPVINDEX/100_FUJI/FPVINDEX.HTML（図12参照））が開く。

【0051】図13はこのサムネールページに基づいて表示されるモニタ画面の表示例を示している。

【0052】同図に示すように、作成されたサムネールページによって運動会のフォルダに対応する変換後のDCFフォルダ（フォルダ番号100のDCFフォルダ）内のインデックス画像の一覧が表示され、また、変換前のフォルダ名（運動会）、ファイル名（玉入れ、徒競走等）と、変換後のDCF表記のフォルダ番号とファイル番号（100-0001、100-0002等）とが同時に表示される。更に、フォルダ内の画像のうちで最も古い撮影日と最も新しい撮影日が抽出され、日付範囲が注釈として表示される。

【0053】ユーザは、CD-Rに書き込んだ画像をプリントする場合には、そのCD-Rと、図14に示すようなプリント注文用紙60をプリントサービスに持っていくことによりプリント注文を行うが、プリント注文するCD-R内のコマを、DCF表記のフォルダ番号とファイル番号で指定することで、記録構造の変換前のフルパス名を用いずに、簡単にかつ一意に特定することができる。

【0054】また、記録構造の変換前及び変換後のフォルダ名、ファイル名等を同時に表示することで、両者の対応関係を容易に識別することができる。

【0055】更に、図13において、各サムネール画像には、対応する本画像を開くためのリンク情報が付帯しており、サムネール画像をクリックすることにより本画像を表示させることができる。また、この場合には、本画像を表示する画面でDCFファイルの情報を見ることが

10

20

30

40

50

できるため、サムネールページの画面では、変換前のフォルダ名、ファイル名等を表示するだけで、変換前後の対応関係を識別することができる。

【0056】また、CD-Rに書き込まれるCD書き込み用データとしては、新たに作成した記録構造に係わる情*

```
100-0001 C::My Documents:My Pictures:2000 年: 運動会: 玉入れ.JPG*
100-0002 C::My Documents:My Pictures:2000 年: 運動会: 徒競走01.JPG*
100-0003 C::My Documents:My Pictures:2000 年: 運動会: 徒競走02.JPG*
101-0001 C::My Documents:My Pictures:2000 年: 公園:DSCF0001.JPG*
101-0002 C::My Documents:My Pictures:2000 年: 公園:DSCF0002.JPG*
.....
```

このスクリプトファイルによれば、CD-Rに書き込まれた情報から変換前の記録構造に戻ることができる。

【0058】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、多様なフォルダ階層に蓄積された画像ファイルを単純な記録構造に自動的に変換し、所定の命名規則によるフォルダ名及びファイル名を付けて記録媒体に記録するようにしたため、新たに作成された画像ファイルを新たに命名されたフォルダ名とファイル名とにより一意に特定できるようになり、プリントサービスでの2次利用が容易になるという利点がある。

【0059】また、前記記録媒体には、新たに作成された画像ファイルの画像をサムネール画像として一覧表示するための閲覧用インデックス情報も記録されるため、簡易に画像閲覧が可能となり、閲覧用インデックス情報には、新たな画像ファイルと記録構造の変換前の画像ファイルとの対応関係を識別可能に表示させる情報が含まれているため、変換前後の画像ファイルの対応関係を容易に把握することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るアルバム作成プログラムを有するパーソナル・コンピュータのハードウェア構成例を示すブロック図

【図2】ビューアソフトのモニタ上の表示画面を示す図

【図3】アルバム作成プログラムが起動したときのモニタ上の表示画面を示す図

【図4】CD書き込みするフォルダを追加する様子を示*

* 報と変換前の記録構造に係わる情報とを対応付けてなるスクリプトファイルも含まれている。スクリプトファイルの記述例を次表に示す。

【0057】

【表3】

※すアルバム作成プログラムのモニタ上の表示画面を示す図

【図5】アルバム作成プログラムによるCD書き込み用データの作成終了時のモニタ上の表示画面を示す図

【図6】ハードディスク装置のツリー構造からCD書き込み用データのツリー構造に記録構造が変換される様子を示す図

【図7】フォルダ名、ファイル名の変換の様子を示す図

20 表

【図8】記録階層の変換及びフォルダ名、ファイル名の作成手順を示すフローチャート

【図9】記録階層の変換及びフォルダ名、ファイル名の作成手順を示すフローチャート

【図10】CD-R内の記録構造例を示す図表

【図11】CD-R内に書き込まれたHTMLファイル（トップページのFPVINDEX.HTML）に基づいて表示されるモニタ画面の表示例を示す図

30 【図12】前記トップページの各フォルダのボタンとリンクしているサムネールページを示す図表

【図13】サムネールページに基づいて表示されるモニタ画面の表示例を示す図

【図14】CD-R等の2次記録媒体を用いてプリント注文する際のプリント注文用紙をの一例を示す図

【符号の説明】

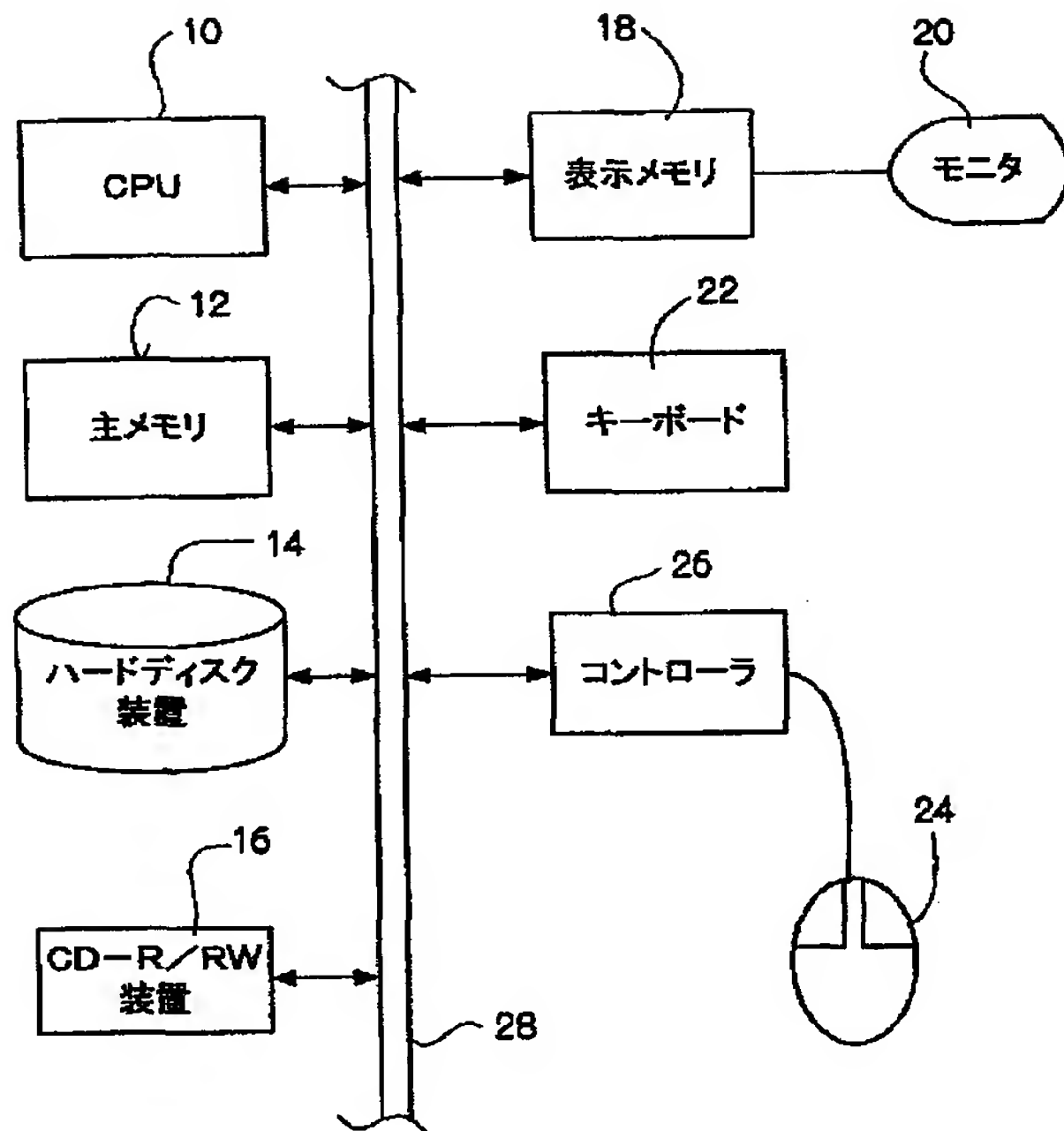
10…中央処理装置（CPU）、12…主メモリ、14…ハードディスク装置、16…CD-R/RW装置、20…モニタ装置、22…キーボード、24…マウス

【図10】

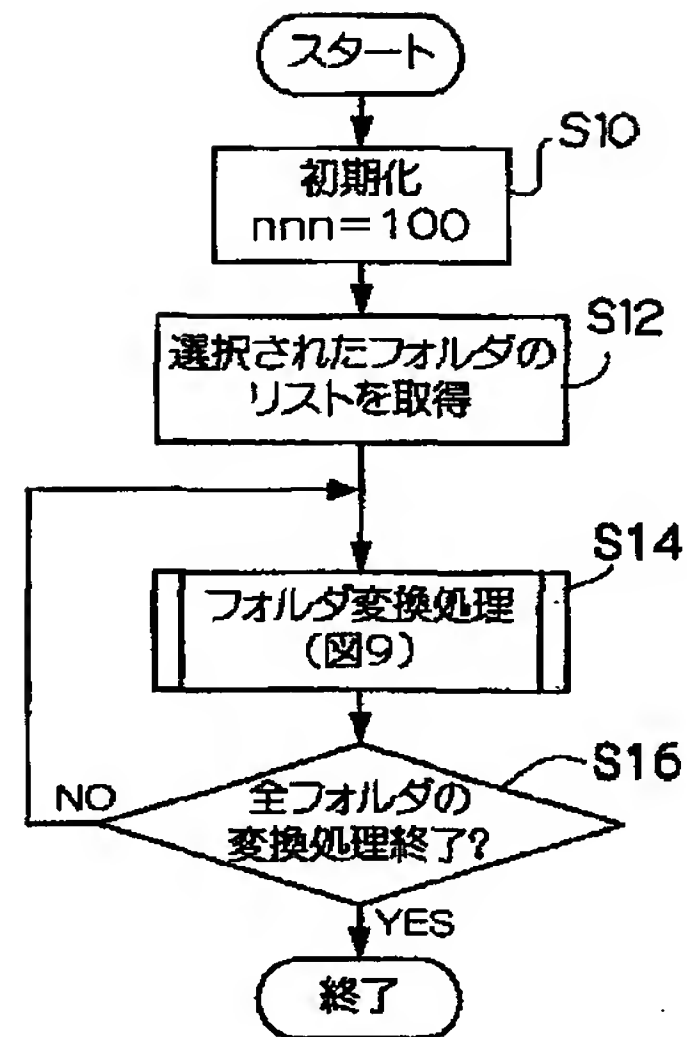
<メディア内の構造例>

```
DCIM¥      100_FUJI¥
            101_FUJI¥
            ....
FPVINDEX.HTML
FPVINDEX¥  100_FUJI¥  FPVINDEX.HTML
                        THUM0001.JPG ←サムネールファイル
            101_FUJI¥  FPVINDEX.HTML
```

【図1】

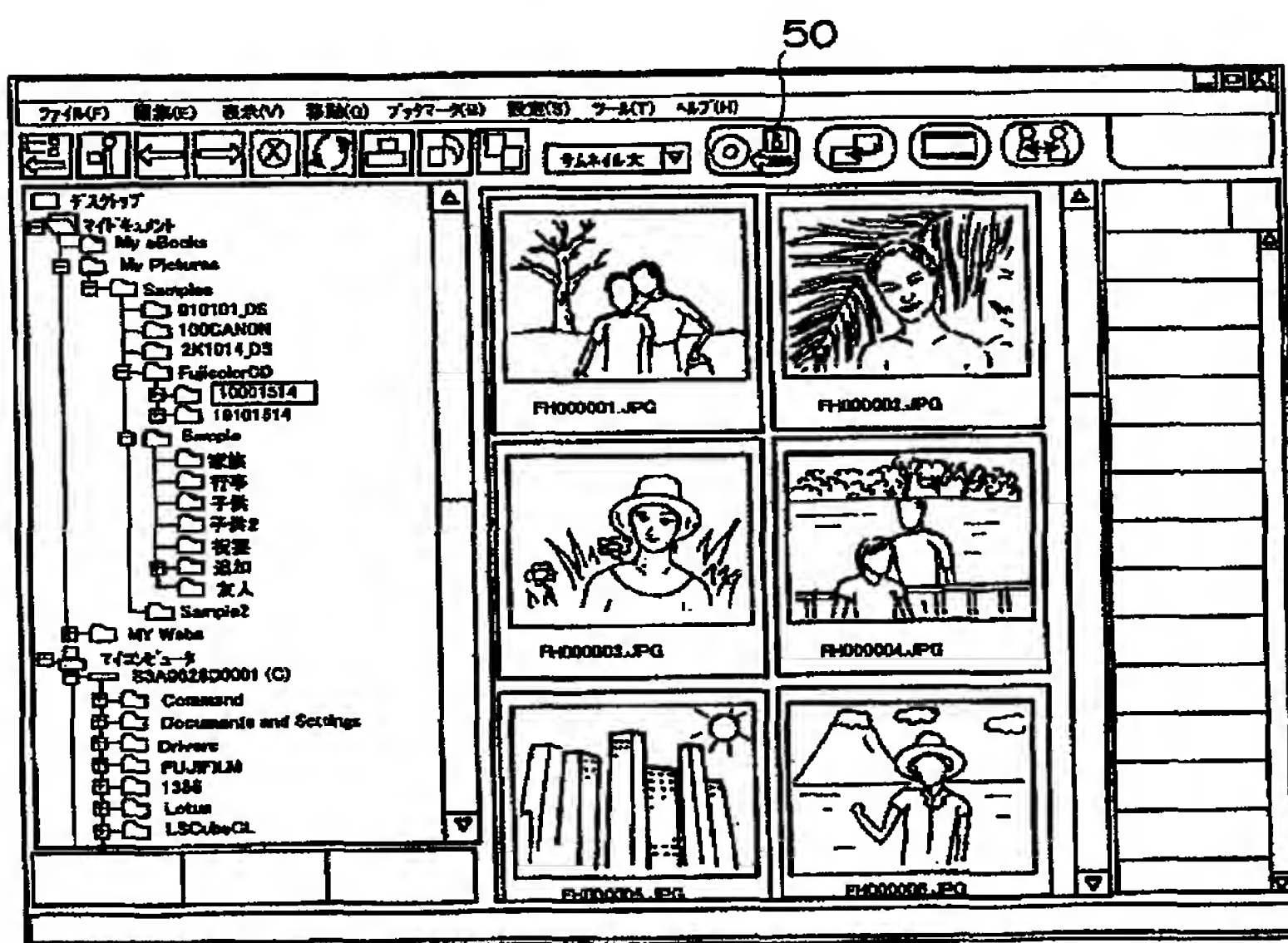


【図8】

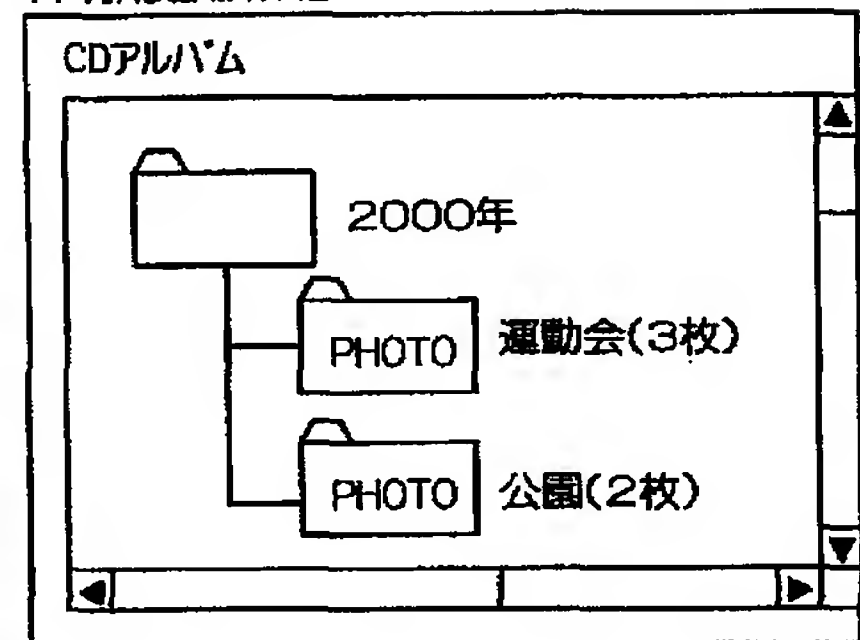


【図11】

【図2】

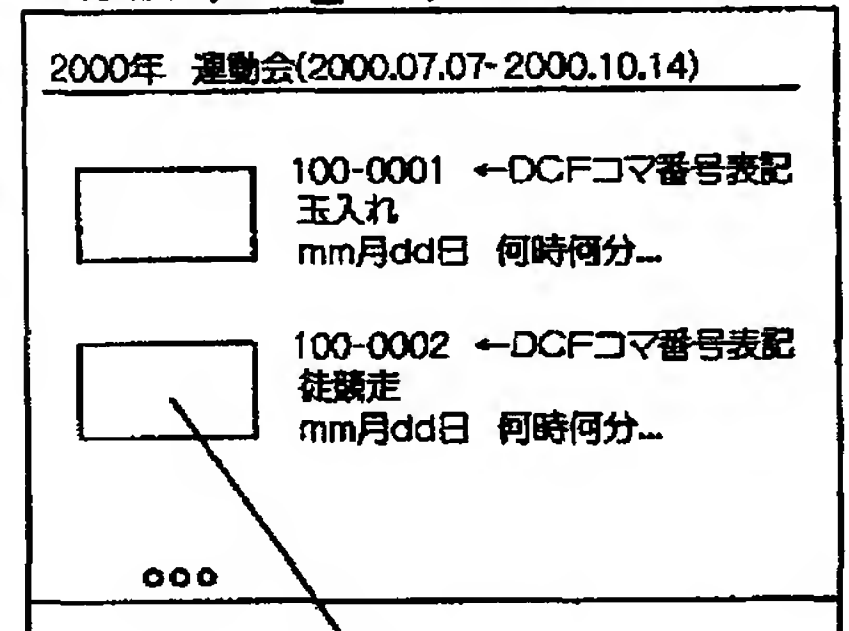


FPVINDEX.HTML



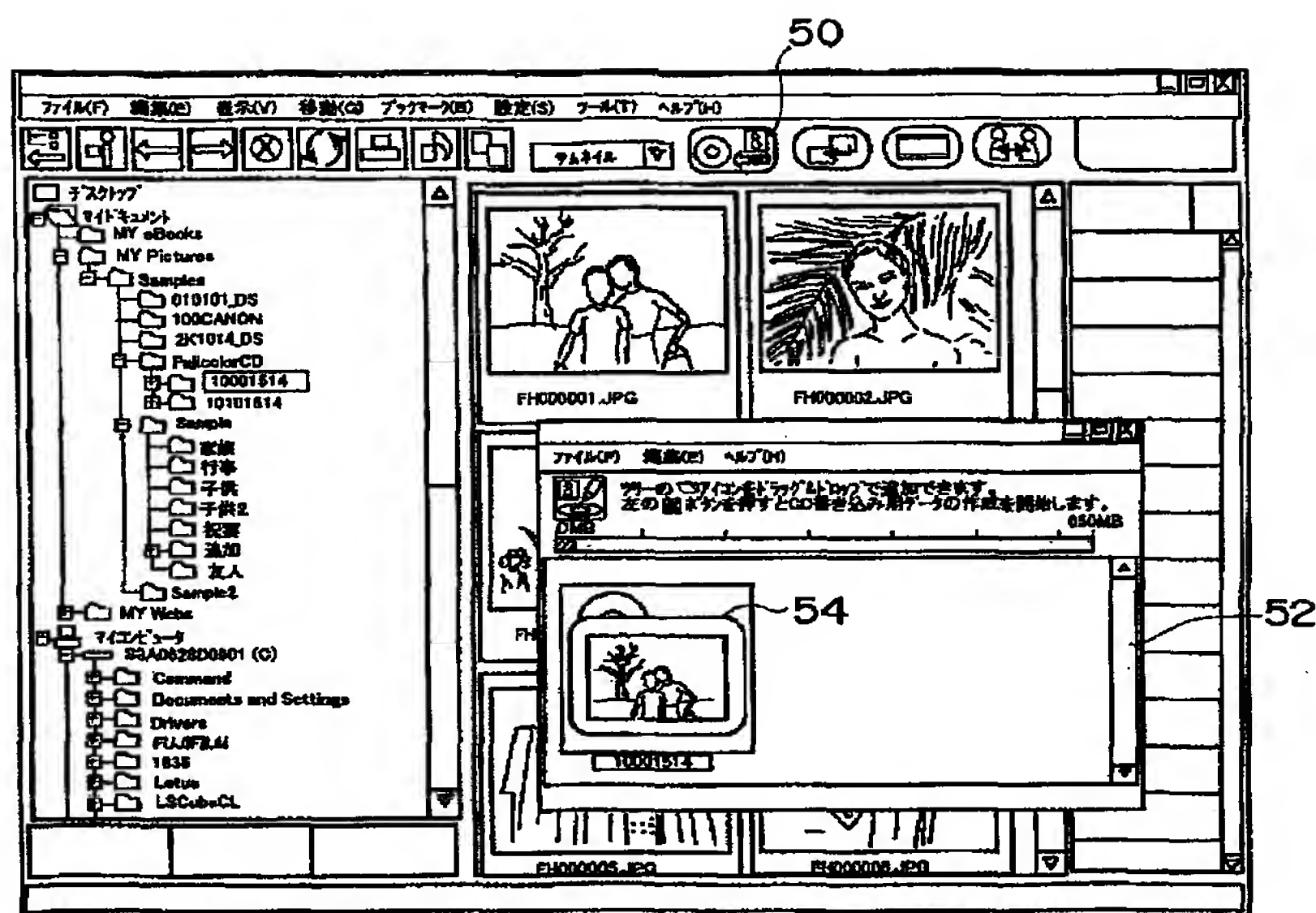
【図13】

FPVINDEX/100_FUJI/FPVINDEX.HTML

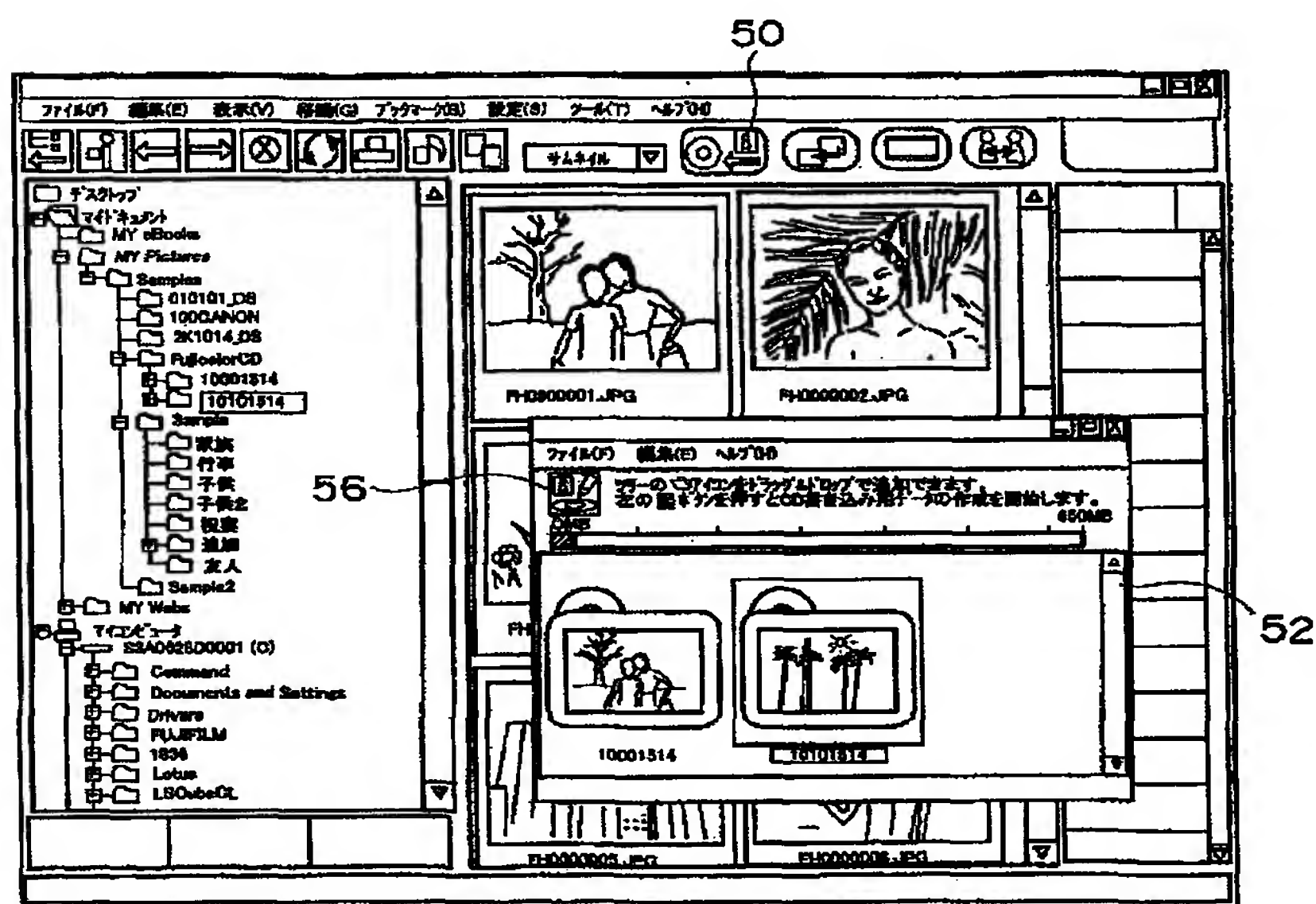


サムネイル画像から、本画像へリンク
DCIM/100_FUJI/FH000002.JPG

【図3】



【図4】

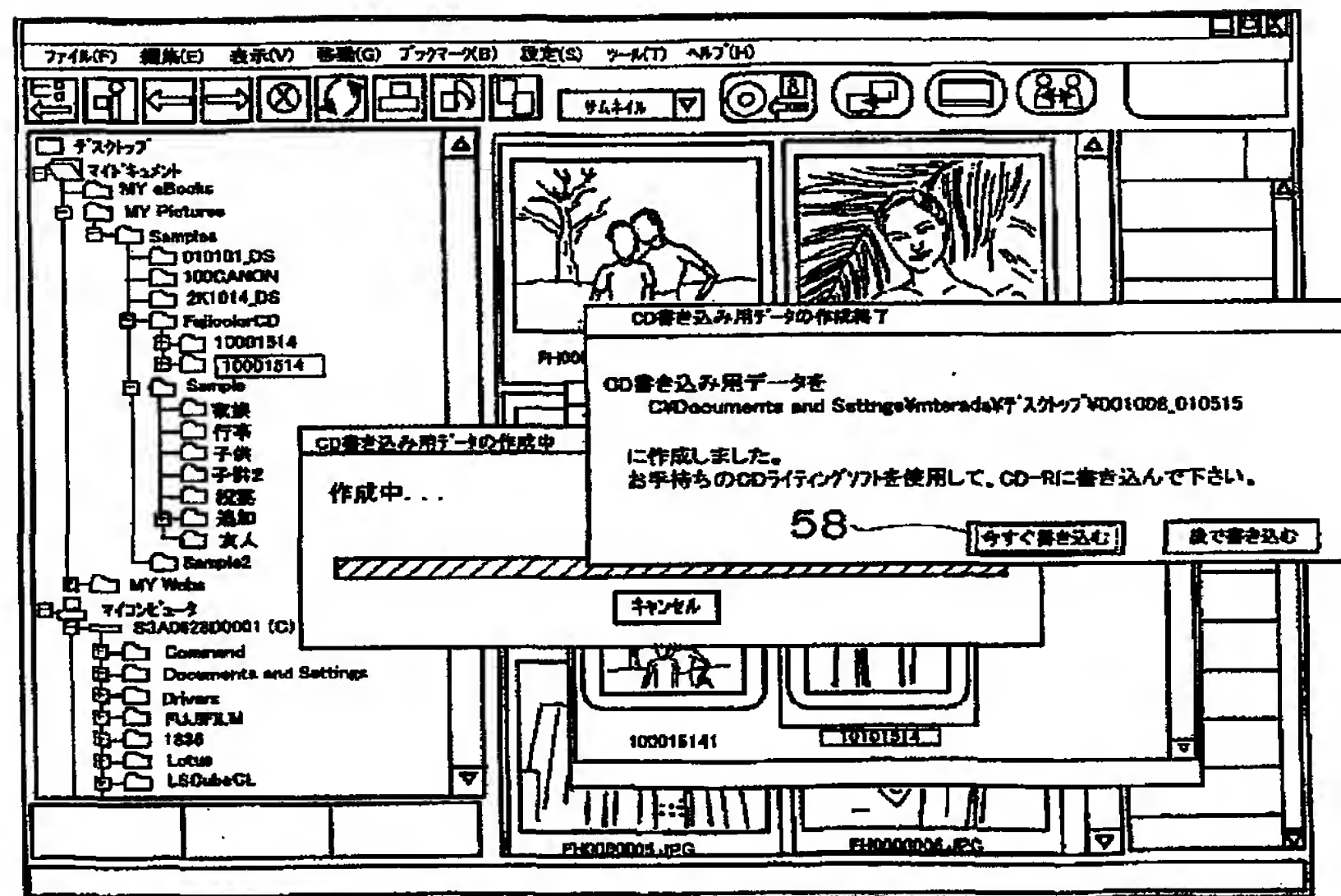


【図12】

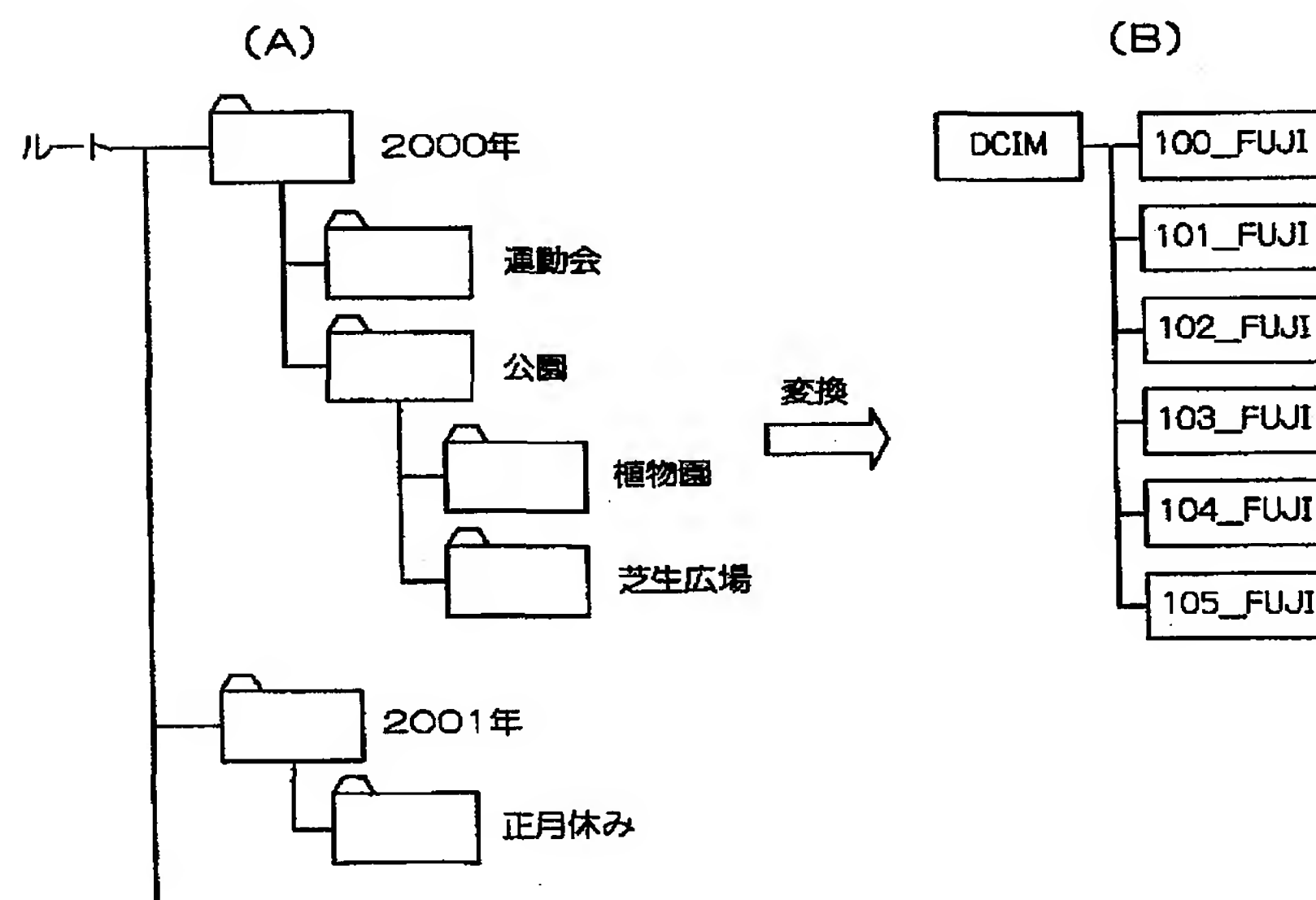
<メディアルート上のFPVINDEX.HTML>

2000年	
運動会	→ FPVINDEX/100_FUJI/FPVINDEX.HTML
公園	→ FPVINDEX/101_FUJI/FPVINDEX.HTML
植物園	→ FPVINDEX/102_FUJI/FPVINDEX.HTML
芝生広場	→ FPVINDEX/103_FUJI/FPVINDEX.HTML
2001年	→ FPVINDEX/104_FUJI/FPVINDEX.HTML
正月休み	→ FPVINDEX/105_FUJI/FPVINDEX.HTML

【図5】



【図6】



【図7】

2000年々			
運動会々			
玉入れ.jpg	→	DCIM/100_FUJI/FXCD0001.JPG	
徒競走0.1.jpg	→	DCIM/100_FUJI/FXCD0002.JPG	
徒競走0.2.jpg	→	DCIM/100_FUJI/FXCD0003.JPG	
公園々			
DSCF0001.JPG	→	DCIM/101_FUJI/FXCD0001.JPG	
DSCF0002.JPG	→	DCIM/101_FUJI/FXCD0002.JPG	
植物園々			
風景1.jpg	→	DCIM/102_FUJI/FXCD0001.JPG	
風景2.jpg	→	DCIM/102_FUJI/FXCD0002.JPG	
芝生広場々			
DSCF0001.JPG	→	DCIM/103_FUJI/FXCD0001.JPG	
DSCF0002.JPG	→	DCIM/103_FUJI/FXCD0002.JPG	
2001年々			
DSCF0100.JPG	→	DCIM/104_FUJI/FXCD0001.JPG	
DSCF0234.JPG	→	DCIM/104_FUJI/FXCD0002.JPG	
正月休み々			
DSCF0001.JPG	→	DCIM/105_FUJI/FXCD0001.JPG	
DSCF0002.JPG	→	DCIM/105_FUJI/FXCD0002.JPG	

【図14】

60

プリント注文用紙

お名前	
ご連絡先電話番号	- -

コマ番号		サイズ	枚数
フォルダ名	ファイル名		
●●●_FUJI	FXCD▲▲▲▲		
100_FUJI	FXCD0001	DSC	1
_FUJI	FXCD		
_FUJI	FXCD		
_FUJI	FXCD		
_FUJI	FXCD		
_FUJI	FXCD		
_FUJI	FXCD		
_FUJI	FXCD		
_FUJI	FXCD		
_FUJI	FXCD		
_FUJI	FXCD		
_FUJI	FXCD		
_FUJI	FXCD		
_FUJI	FXCD		
_FUJI	FXCD		

【図9】

